

平成20年度事業報告

1. 事業概要

景気の状態の悪化に伴い、当センターにおきまして、平成20年度は、大変厳しい事業運営となりました。しばらくは、このような状況が続くと思われ、高齢者の就業機会の拡大へも影響を来しておりますが、今後も地域社会の需要に応えられる組織作りを目指し、活発な事業運営を行ってまいります。

平成20年度末の会員数は、前年度より74人増の1,659人となりました。

事業実績では、就業受託金額が822,564,139円（対前年度858,215,227円）、就業延人員については212,689人（対前年度216,351人）となり、いずれも前年度を下回る結果となりました。

以下、平成20年度の主要事業について報告いたします。

1. 普及啓発事業・就業機会の確保

○健康で、働く意欲を持った会員の募集とセンター事業に対する周知を図るために、以下の活動を行いました。

- (1) 市川市の「いこいの家まつり」や「市民まつり」「還暦式」に参加し、普及啓発促進のため、リーフレット及びポケットティッシュ等を配布しPR活動を行ないました。市川市の広報に会員募集の記事を掲載し、また、各福祉団体に協力いただき、シルバー人材センターについての説明会を行いました。
- (2) 国の補助事業である「就業機会創出員」を3名配置し、10月から3月の間、一般家庭や事業所の訪問活動(3,864件)を行い、会員募集及び既存発注者の定期的な受注確保に努めました。

2. 会員の組織化

○センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」を基づき、安全で適正な就業の遂行、技術・技能の向上や就業機会の公平性について、理解しあえるよう、以下の活動を行いました。

- (1) 公民館や自転車等管理に就業している会員350名を対象に、接遇研修を実施し、言葉や接客態度についての講義を受けました。
- (2) 会員主体のボランティア「くすのき会」の活動として、江戸川クリーン作戦（ゴミ0運動）に参加しました。また、市川市の「還暦式」では、受付や案内係りとして、活動いたしました。

3. 安全就業対策について

○健康で安全な就業を続けていかれるよう、以下の活動を行いました。

- (1) 会報を通じて安全就業についての啓発を行いました。
- (2) 安全委員会では、会員の作業状況を確認するため依頼先巡視を実施しました。また、千葉県シルバー人材センター連合会主催の「安全・適正就業講習会」に参加し、安全対策について知識を深めました。

4. 福利厚生事業

○会員の交流活動を円滑にすることを目的とし、以下の活動を行いました。

- (1) 会員相互の親睦の充実を図るため、親睦旅行（飛騨高山へ9月7日と8日）を実施しました。
- (2) 会員による同好会（囲碁・手工芸・料理・表装）が定期的に活動を行いそれを支援しました。